

これからの稻作は 大船に乗って いこう



いもち病

紋枯病



ウンカカブ
(セシヨウカンガ)

ツマグロミヨバイ

ヨブノメイガ

イナシトムシ



は種時から移植当日まで、
箱でいつでも使って、
主要病害虫を一括防除。

- 紹枯病防除剤
「エバーゴル[®]」(有効成分:ベンフルフェン)配合
- いもち病防除の新定番
「ルーチン(有効成分:イソチアニル)」でイネ自身に
抵抗力をつける
- 「アドマイヤー[®]」と「スピノサド」で
幅広い害虫に有効



は種時から移植当日まで、箱でいつでも使って、主要病害虫を一括防除。

ルーチン® エキスパート 箱粒剤

●登録番号:農林水産省登録 第23634号
●成 分:イミダクロブリド·····2.0%
スピノサド·····1.0%
イソチアニル·····2.0%
ベンフルフェン·····2.0%
●毒 性:普通物(「毒物および劇物取扱法」にもとづく毒物、劇物に該当しないものを指す)の表示

ルーチンエキスパート箱粒剤の特長

- 紋枯病防除剤「エバーゴル」と、いもち病防除の新定番「ルーチン」配合
- は種時から移植当日まで使用可能

- 耐性菌発達のリスクが小さい薬剤
- 浸透性・移行性に優れ、長い残効性

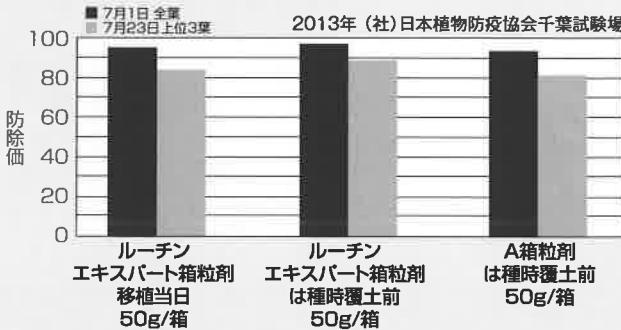
適用病害虫および使用方法 (2018年10月現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
稻 (箱育苗)	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ コブノメイガ フタオビコヤガ ニカメイチュウ イネツトムシ いもち病 紋枯病 白葉枯病 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 もみ枯細菌病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当たり50g	は種時(覆土前) ～ 移植当日	本剤:1回 イミダクロブリド:3回 (移植時までの処理は1回、 本田での散布は2回) スピノサド:1回 イソチアニル:3回 (移植時までの処理は1回、 本田では2回) ベンフルフェン:1回	育苗箱の 上から均一に 散布する
			移植当日		

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示す。

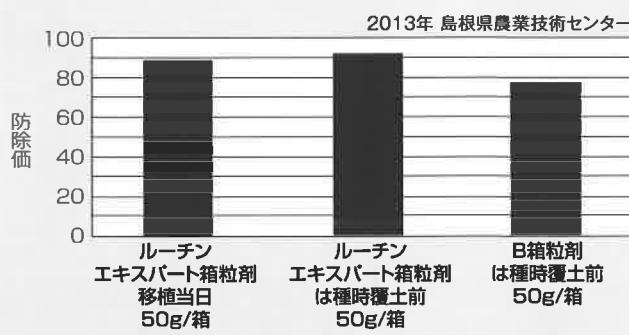
試験成績

●葉いもちに対する防除効果



品種:コシヒカリ 発生状況:多発生 播種:4月15日 移植:5月9日
調査:7月1日に全葉、7月23日に上位3葉を、30株×2か所について発病株率
および1株当たりの病斑数を求め、防除率を算出した。

●紋枯病に対する防除効果



品種:きぬむすめ 発生状況:甚発生 播種:4月26日 移植:5月18日
調査:9月10日に100株×3か所について、井上式被害度の調査法により全体の
被害度を求め、防除率を算出した。

注意事項

- 極端な低温での育苗条件では生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意して下さい。
- 梅雨明け後の高温時の晚期栽培では、は種時の処理により葉害が生じるおそれがあるので、この時期での使用を避けて下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには葉害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、葉害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- 本剤を処理した稻苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- 近くの他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤食などのないように注意して下さい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないで下さい。
- 移植後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 TEL100-8262 https://cropscience.bayer.jp

お客様相談室 ☎ 0120-575-078 9:00~12:00, 13:00~17:00
土・日・祝日を除く

(F-2110 18.10.JWT)